

65歳になったら私たちに何が起きるか

～障がい者サービスはどう変わるのか～



小山内 美智子
(NPO 法人
札幌いちご会)

ヘルパー制度を受けて生きている私たちは、うわさによると65歳になると介護保険に変わり、サービス時間が減らされるかもしれないと聞きます。65歳になっても今まで通り生きていく方法はないのでしょうか。障がい者自身と、その関係者が深く勉強しなければいけません。はっきり意見の言える人は変わらない生活をし、意見の言えない人はサービス時間を減らされています。福祉制度はめまぐるしく変わり、福祉関係者に聞いても色々な答えが返ってきます。迷っている人が多すぎるのです。これからも障がい者自身がおだやかに生きられるために一緒に勉強会をしましょう。

札幌いちご会は色々な方に知恵を貸していただき、正しいケアサービスの情報を伝えていきたいと考えています。ぜひご参加ください。若い人たちも情報を共有して、困っている人たちを助けてください。



奥田 龍人(NPO 法人シーズネット)

福祉制度はよく
変わりますね。
一緒に勉強
しましょう！

何でも相談に乗りますので、
安心してくださいね。

ああ、来てよかったわ♥
たよってばかりじゃダメね。
生きるために勉強しなくちゃ



森本 俊二
(相談支援事業所さに一さいど)

日時 2015年11月22日(日) 14:00～16:00

場所 札幌市生涯学習センターちえいあ 3階 研修室3

地下鉄東西線宮の沢駅直通

講師 奥田 龍人(NPO法人シーズネット理事長)

森本 俊二(相談支援事業所さに一さいど)

参加無料 お申し込みは下記まで

申し込み先 NPO法人札幌いちご会
札幌市西区西町南18丁目2-1 稲嶺ビル1階
TEL (011) 676-0733 FAX (011) 676-0734
E-Mail info@sapporo-ichigokai.jp

主催：NPO 法人札幌いちご会

協力：社会福祉法人札幌この実会